

衆議院議員(宝塚・伊丹・川西市)

いちむら 浩一郎

こういちろう



PRESS MINSHU

ジャブジャブ通信 vol.15 2006年12月28日号 号外

兵庫第6区版
(宝塚市 伊丹市 川西市)
(毎月15日発行)
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

今年1年のご声援に感謝!



12月21日内閣委員会が開かれJR事故の調査報告についてお聞きしました

委員会質疑回数は過去最高

第一六五臨時国会の閉会とともに、平成十八年(二六年)も終わろうとしています。今年には国会議員生活が実質三年目の年でした。

メール問題と前原代表の辞任で、皆様にご迷惑をおかけしました。その後小沢新代表の誕生と鳩山、菅両元代表が幹事長と代表代行として執行部入りしたことで、全党挙げて信頼回復に努める体制は出来たと考えます。

今後は議員一人一人が、その行動で示していくことが必要です。私は委員会での審議を通じてその責務を果たし行動して行くつもりであります。

その結果、議員三年目の今年の委員会質疑回数は過去最高の二十回にのびました。

党議拘束に反しても信念を貫く

そうした情勢の中で「行政改革関連法案」が提出され、真のNPO制度制定に関する議論をさせていただきました。論議を通じ谷垣財務大臣や、与党議員の方々からもご理解いただけた発言を数多くいただいたものです。

そこで私は民法に「非営利法人」という概念を入れる改正案を二十名の仲間と提出しようと思いましたが、しかし民主党は、一部の法案修正を勝ち取るために私の主張を阻み提出を断念させられました。そのため私は民主党が「賛成」した関連法案に、本会議で「反対」の意思表示をさせていただきました。

来年、真のNPO法案を提出

現在、改めて非営利法人を包括する法案と非営利法人に関する寄付税制緩和の法案を、真のNPO法案として用意しております。既に私の用意した法案は、民主党政調の作業チームにより、検討に入ったところです。

来年の通常国会には、真のNPO法案を国会に提出させていただきます。

駐車違反取締りの民間委託

今年には道路交通法について質疑を行なうことが多い年でした。

駐車違反取締りの民間委託が六月から施行されることを受け、あらためてその問題点を指摘させていただきました。それは、民間委託になったところで警察が手続きを行うことは変わらない

いので、この業務からの警察力の削減にはならないこと、罰金ではなく、迷惑料とすることで警察から自治体などへこの業務を切り離すべきであること、を何度も訴えているところです。

ひき逃げの厳罰化を要求

一昨年からは警察や法務省に提案し、今年には委員会の場で何度か訴えていることですが、危険運転致死傷罪の創設で酩酊状態で人身事故を起こすと最高懲役二十年が課されます。ところがその罪を免れるために「ひき逃げ」をして酔いが醒めるのを待って出頭すれば(飲酒がわからなければ)、業務上過失致死(傷害)の扱いで最高でも懲役七年六ヶ月になってしまいます。これでは「にげ得」ということになってしまいかねません。

そこで私は何度も厳罰化を要求してきました。その後、八月に福岡市職員飲酒による悲惨な人身事故で、厳罰化の世論が沸きあがり、法制化の作業が行われることになりましたが、年末年始の飲酒の機会が増えるこの時期に至っても未だに提出されていません。もしこの時期に人身事故が起こったら一体、誰が責任を取るのでしょうか。

厳罰化法案の提出者に

民主党は、厳罰化の法案をこの臨時国会に提出し、私も提出者のうちの一人に名を連ねさせていただきます。通常国会で必ず成立させます。

ノロウイルス エンザ 新ウイルスに要注意

これまで私たちにあまり馴染みなかったウイルスが最近新たな脅威として拡がりつつあります。

航空網の広がりや世界を身近なものとしましたが、同時に未知の脅威も身近なものとしてしまいました。

患者数が昨年の五・六倍ウイルス。これまでも毎年のように発生していましたが、患者数はごく限定的であったノロウイルスが今年になって爆発的に猛威を振るっています。

厚生労働省の緊急調査によると十一月一日から十二月十八日までに、患者数は昨年同期の五・六倍の九六五人が発生しています。

ノロウイルスは手指や食品などを介して経口で感染し、ヒトの腸で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などの症状を起こします。ワクチンなど決定的な治療法はありません。そのため食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗うなどの予防対策を徹底する必要があります。

最大二一万人の日本人が死亡

さらに今後、発生が懸念されているのがトリインフルエンザです。養鶏場などで大きな被害を出している鳥インフルエンザが、ウイルスの変

異により人に感染する新型ウイルスとなり、世界規模で流行することが世界中で懸念されています。WHOの今年六月の報告によれば、これまでに二二二二人が感染し、一三四人が死亡しました。

強毒性のウイルスが流行が始まると、オーストラリアのローウィー研究所は日本での死者数は最大二一万人と予測、厚生労働省は最大六四万人、米ハーバード大の研究チームは一二万人と予測しています。また、経済損失を第一生命経済研究所は国内GDPの四・一%としています。

こうした状況に米国はトリインフルエンザ・ワクチンのプロトタイプを開発を行っています。日本ではまだ対応していません。

厚生労働省はタミフルと呼ばれる薬を備蓄しています。タミフルは普通のインフルエンザには効果がありませんが、トリインフルエンザでの臨床データが少なく、ウイルス性の抵抗も報告されているため安心できません。

効果的なワクチンはなく、早寝早起き、うがい、手洗いの励行で抵抗力を高め、食料や飲料水の備蓄を二週間程度は用意し、発生時に群集に近づかない等しか、現在のところ対応策がありません。

募集しています

いちむら浩一郎を応援する会

今の政治に満足していますか？このまま続けますか？いちむら浩一郎はしがらみを断ち、政治を国民の手に取り戻します。

いちむら浩一郎とともに日本を変えていきましよう。

広報掲示板の設置

市村浩一郎のポスター、各種会合案内などを街角の皆様にお知らせする掲示板を、所有する建物や壁に設置して下さる方を募集しています。

「日本の洗濯」

ジャブジャブの由来

「日本を今一度洗濯致し申し候こと」これは坂本龍馬が姉「乙女」に宛てた手紙の一節です。

日本は国も地方も破綻寸前の財政状況、相変わらずの景気の低迷、介護・年金問題、雇用不安、サラリーマンを狙い撃ちした増税、福祉切り捨て、教育の荒廃、八方塞がりの外交・・・数え上げたらきりが無いほど社会は閉塞状況にあります。

まさに今、日本に必要なのは坂本龍馬が百年前に姉に送ったこの言葉にほかなりません。

古いがらみを断ち切れず弱い者にしわ寄せしている社会状況にある日本を、今一度洗濯し直す時期に来ているのです。



いちむら浩一郎事務所

お気軽にお立ち寄りください

[東京事務所] 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館502号室
TEL 03(3508)7292 FAX 03(3508)3502

[地元事務所] いちむら浩一郎を応援する会
民主党兵庫県第6区総支部
〒665-0035 兵庫県宝塚市逆瀬川2-6-2
TEL 0797(76)5166 FAX 0797(76)5122

<http://www.javjav.com/> info@javjav.com

